

視覚障がい者にとってはなくてはならない点字ブロックですが、情報は「誘導」と「注意喚起」の2種類のみで細かいことが伝わりません。

そこで、点字ブロックに黒点や矢印をつけてコード化し、スマートホンやコンピュータにつけたカメラで読み取り、周辺の施設などの情報が音声で流れます。

また、初めて訪れる場所で、スマートホンをかざすだけで観光客や外国人にも文字や映像の情報を提供することができます。

みんなが使えるコード化点字ブロックになれば、点字ブロックの上に自転車や荷物を置くこともなくなるでしょう。

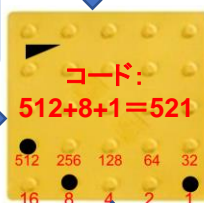


4方向の
情報識別

3000万種類の
情報

前方は市役所、香林坊交差点方面です。左は金沢歌劇座方面です。右は金沢城公園、しいのき迎賓館方面です。

前方は金沢城公園、しいのき迎賓館方面です。左は市役所、香林坊交差点方面です。

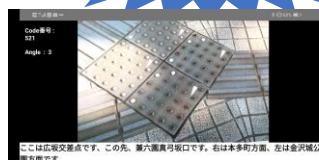


前方は兼六園真弓坂口、石浦神社方面です。左は金沢城公園、しいのき迎賓館方面です。右は金沢歌劇座方面です。

サーバ通信で
様々な情報提供

前方は金沢歌劇座方面です。前方右手に21世紀美術館があります。右は市役所、香林坊交差点方面です。

アプリは
ダウンロード



現在、兼六園前の広坂交差点では、
こんな案内が流れています。

【実績】「金沢市市民生活AI技術等促進事業」に採択され、金沢21世紀美術館周辺の歩道、金沢工業大学内にコード化点字ブロックを敷設し、実証実験中。コード化点字ブロックの情報の形式、内容はオープンデータ化する予定。

【今後】「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」を目指しています。金沢を起点に全国に広めていきたいと思っています。オープンデータをベースに様々な使い方を一緒に考えてみませんか。

【連絡先】金沢工業大学工学部情報工学科 松井くにお

mail: kmatsui@neptune.kanazawa-it.ac.jp